

# 技短同窓会会報

熊本県立技術短期大学校  
同窓会会報  
編集・発行 同窓会会長・理事



熊本県立技術短期大学校  
校長 檜山 隆

本年4月に岩井前校長の後任として着任いたしました。この度、同窓会会報への執筆依頼をいただきとても感謝しています。技短も今年4月の入学生が第16期生となり、これまでに1,200名にのぼる卒業生が、熊本県内の地場企業や誘致企業など多方面の産業分野において活躍しています。第一期生として本校を卒業された方々、また、それに続く卒業生の方々の年齢はすでに30台半ばとなられ、企業の中核をなす実践技術者として成長され、また、活躍されていることと思います。卒業生の皆さんの企業現場における活躍の様子を在校生諸君に周知させ、在校生諸君が自身の将来像を心に描き、その将来像に向かって勉学、実技訓練に精励するようにさせたいものです。卒業生の皆さんには、是非、機会ある毎に母校をご訪問頂き、これから実社会へと巣立っていく在校生諸君に夢と希望を与えていただきたいと切に願っています。

グローバル化が進展する社会に柔軟に対応し、その設置目的である県内産業の振興と県内企業への実践技術者の輩出に向けて、技短にも変革のときが来ているといっても過言ではありません。時代と共に成長する技短となるべく、教職員一同、一致団結して新たな道を開いていく所存です。卒業生の皆さんにも、引き続き母校への変わらぬご支援をお願いいたします。最後に、卒業生の皆さんのご活躍と同窓会の益々の発展を祈念してご挨拶いたします。



熊本県立技術短期大学校  
同窓会会長 野田 泰  
第四期卒業 産業機械科

今年は、九州北部豪雨というあまり熊本で体験することがない災害を経験しました。

全国ニュースで熊本を始め九州域を取り上げ連日にわたって報道され阿蘇地域で多くの方が犠牲になられ、未だに捜索中の方もおられます。犠牲者の方にご冥福をお祈りするとともに一日でも早く発見されることを願っております。

## ～表面から見えない本質～

私達は卒業後に多くの仕事を経験します。その中で担当が変わることがあり、例えば現場作業から設計へ、設計から営業など職種が同じ会社内でも変わることがありますし、転職して全く違う職種になることもあります。このように経験を積む程に様々な知識、見識を持つことが自分のノウハウとなり仕事で発生する多くのトラブルに対して対応し職務を成功へと導くわけです。

但し、経験がある故に物事に対して「事象の本質（ポイント）が見えず表面上の対策ばかりを見てしまう」ことがあります。例えば、会社駐車場に社員が車を停めるマナーが悪化したとします。車を白線内に停めなかったり、駐車場にゴミを落としたり。会社の担当者は「駐車スペースが守れていないので、きちんと駐車するように」「ゴミが落ちているから、ゴミを捨てないように」という知らせしか社員に伝えません。

一件トラブルに対して的確に対応しているように感じますがこれが表面上の対策ばかりを見ている内容なのです。この件の本質は駐車場の整備が疎かで、駐車スペースまで草が生え白線が見えにくくなってきていることで社員が車を白線内に停めることができなくなり、駐車マナーが悪化し、「これだけぐらいいいのでは」とモラルが悪化し社員がゴミを捨て始めてしまったのです。整備を行うと駐車マナーは改善され、ゴミを落とすことはなくなりました。

今回の本質は駐車場整備が疎かだったことだと本質に気付かず、駐車しろ、ゴミを捨てるな、と表面上の対策ばかりを一方的に発信していた為長期にわたり対策が完了しなかった例です。いかに表面上だけをみることなく、本質（駐車場整備の悪化）を見ることが出来るのか？これはどんな職種でも言えることです。多くの方が経験したことがある、もしくは気付いていないことでもありますので、これを機会に意識しながらこれからの社会生活を一緒に過ごしていきましょう。

昨年の総会にて、開催日程を「技短祭」の開催日へと変更する議案が可決され、本年は技短祭同日の11月4日(日)の開催となりました。卒業生方々の意見を聞く場として大きく期待しています。平成14年10月30日に同窓会を立ち上げてから、今年で10年目を迎え、来年は10周年の記念行事も企画したいと思っています。卒業生は約1,200名となり、熊本県内外で活躍する皆様との交流が、今後の熊本県立技術短期大学の発展に繋がるものと思っています。また、技短祭と同日としたのは、学校へ来る機会を作り、先生方や、当時

## 交★流★会

昨年度、学校側に御協力頂き、在校生との交流会を実施すべく進めておりましたが、努力不足により開催することができませんでした。参加のお願いをしていた方々には大変申し訳なくお詫び致します。今年は、11月開催の総会にて再度卒業生の皆様に声掛けを行い、「交流会」開催に向けて企画を進めたいと思います。お互いに良い事がありますので是非ともご参加を！

### ◇在校生

- ①現場で働く生の声を聞き、会社で働く事のイメージを持つことができる。
- ②会社を選ぶ基準として、対外的な情報だけでなく現場の情報を得て就職活動を行うことができる。
- ③入社前から先輩との繋がりを持つ事で仕事がやりやすく、また相談できる環境を作ることができる。

### ◇卒業生(企業側)

- ④学校側(在校生)へ新卒者に求めるものを直に伝える事が出来る。

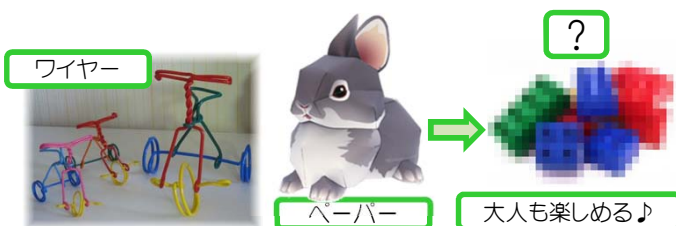
# 技短祭 & 総会

の仲間達との交流の場としても利用して頂きたく設定致しました。同窓会Facebookを活用し声を掛け合って頂いてぜひ学校へ足を運んでください。事前にお知らせ頂ければ、出勤される先生の確認や退職された先生への声掛けなど、同窓会としてお手伝いいたします。「総会」の内容は前年度の活動報告含め、決算予算の報告、今後の計画をご報告致します。

＜ 2012年11月4日(日)11:00～12:00(予) ＞

【会場：在職者セミナー棟】

もちろん今年も同窓会にて「ものづくり体験ブース」を開きます。これまではワイヤークラフト、ペーパークラフト等「作る」をメインにしてきましたが、今年は「創る」をテーマにしています。



- ⑤会社で働く事のイメージを伝えることで、採用者の早期離職を避けることができる。
- ⑥入社前から後輩との繋がりを持つ事で、コミュニケーションがとりやすくなる。

この「交流会」は、私達卒業生が、学生の時に「こういう情報があれば」と思っていた内容を伝える事に大きな意味があります。実際に技短で勉強し、技短から就職した私達卒業生にしかできないことです。



技短同窓会 Facebook



### ◇同窓会(各年度/各科)写真、記事募集

皆様それぞれに集まった様子をFacebookへ掲載しませんか？連絡先が取れなくなってしまった方や、参加できなかった人への報告も含めご活用頂ければと思います。また、同窓会のウォールを使って呼びかけをして頂いても構いません。

### ◇仕事で役に立った本の紹介

たくさんのお本を読まれているかと思います。在校生だけでなく卒業生へもご紹介頂きたく、募集を致します。簡単な感想を含み、Facebookまたは、下記メールアドレスまでご連絡ください。ご連絡頂いた内容は情報として蓄積していきたいと思っています。また、以前行いました、学校への図書寄贈を今後行う時の、本選出の参考にしたいと思っています。

### ◇就職支援情報

主に学生や、一般(入学を希望する学生やその親)の方からの問い合わせに対する回答を行っています。会社の情報は教える事のできる内容は制限されますが、職種や学校で何をすべきか？等の質問にはどんどん答えていきたいと思っています。

2012年3月 退職者

精密機械技術科 : 大坪武廣 先生  
電子情報技術科 : 遠藤厚志 先生  
情報通信技術科 : 上田直行 先生

平成23年度決算・24年度予算

①収入の部 【単位:円】

項 目	23年度決算	24年度予算	備 考
繰越金	5,694,814	6,187,835	
会費	1,090,000	1,100,000	
諸収入	1,047	0	利息
計	6,785,861	7,287,835	

②支出の部

項 目	23年度決算	24年度予算	備 考
運営費	235,017	80,000	23年:Facebook開設費用
技短祭費用	168,963	135,000	
郵送費	194,046	135,000	会報誌発送
その他	0	200,000	24年:周年事業積立金
計	598,026	550,000	

③収入ー支出

繰越金	6,187,835	6,737,835	
-----	-----------	-----------	--